

———— 2006/12/1 ————
《「産業保健おおいた」メルマガ版》
第 24 号

○ INDEX



* TOPICS

新型インフルエンザ対策関連情報 等

* 今月の Key Word【偏西風と高気圧】

* 労働衛生事例

・酸素欠乏症 2 例

* 新着情報

…新着雑誌のご案内

* 研修・セミナーのご案内(12 月・H19 年 1 月)

○ TOPICS

◆ 新型インフルエンザ対策関連情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

◆ 新型インフルエンザに関するQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou15/04.html>

◆ 関連情報

・今冬のインフルエンザ総合対策について

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

・鳥インフルエンザに関する情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou02/index.html>

・新型インフルエンザ対策に関するリンク

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou15/04.html>

(すべて、厚生労働省ホームページより)

○ 今月の Key Word【偏西風と高気圧】

偏西風とは、中緯度においてほとんど常時吹いている西寄りの風のことである。地表付近においては亜熱帯高気圧(中緯度高気帯)から極側に吹き出す風がコリオリの力によって西向きとなり偏西風となる。

また、赤道付近の大気は極付近の大気よりも暖められているため、静水圧平衡の関係により上層においては赤道が高気圧、両極が低気圧となっている。このため地衡風の関係により中緯度上層においてもやはり西向きの風が吹き偏西風となる。

偏西風は温度風の関係のために高度とともに強くなり対流圏界面付近で風速が最大となり、ジェット気流と呼ばれる。ジェット気流が強い地域は低気圧が発達しやすい。また、ジェット気流の位置の季節変化は梅雨の原因の一つとされている。

赤道と極との温度差が大きくなると偏西風は南北に蛇行するようになる。この蛇行を偏西風蛇行という。季節により中緯度高気帯の範囲は移動するので、偏西風域も移動する。偏西風波動は中緯度にける赤道と両極の間の熱輸送を担っており、低気圧や高気圧の盛衰を支配している。偏西風の蛇行が大きくなるとブロッキング現象が発生し異常気象をもたらすことがある。

偏西風の蛇行が激しくなると、蛇行が高緯度側へ張り出した部分(気圧の尾根)が切り離されて独立した渦となることがある。この部分は南からの暖気が入り込んでいる部分であるので温暖な高気圧となる。これが、ブロッキング高気圧、切離高気圧といった名で呼ばれる高気圧である。

ブロッキング高気圧の名は、この高気圧の存在によって温帯低気圧や移動性高気圧の通常の流れから東への異動が滞るところから付けられた。ブロッキング高気圧は偏西風の流れから切り離されているため移動が遅く、特定の気圧配置を持続させる。そのため、渇水や大雨、異常高温・低音などの異常気象の原因となることがある。

シベリア高気圧は、冬季のシベリアの地表で発達する高気圧。主な成因は地表の放射冷却であるが、ブロッキング高気圧の影響も受けている。

典型的な冬型の気圧配置となると、シベリア高気圧とアリューシャン低気圧によって、摂氏-30度から-50度程度(500hPa付近)の寒気が日本列島付近まで吹き出され、日本海側に大雪を降らせる。

出典： ・「偏西風」(2006年7月23日(日)12:31)

『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%81%8F%E8%A5%BF%E9%A2%A8>

・「高気圧」(2006年10月27日(金)09:23)

『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AB%98%E6%B0%97%E5%9C%A7>

○ 労働衛生事例

労働衛生事例(2例—平成16年—)

・酸素欠乏症 例1

【業種】

運輸交通業

【発生月】

12 月

【被災者数】

休業 1 名

【発生状況】

保冷貨物車において発砲スチロール製の容器内にドライアイスとともに 入れられた商品の配送中に、荷下ろしのために保冷コンテナのドアを開けたところ、ドライアイスの昇華により発生した二酸化炭素により酸素欠乏症状となっていた空気を吸入し、被災した。

【発生原因等】

- ・換気不十分
- ・安全衛生管理体制不備
- ・作業標準不備

・酸素欠乏症 例 2

【業種】

建設業

【発生月】

12 月

【被災者数】

死亡 1 名

【発生状況】

下水道マンホール内の不要になった下水道管にふたをする作業を行うために、マンホール内に設けられたステップをつたって下に降りていたところ、し尿等から発生した硫化水素等により置換されて生じた酸素欠乏空気を吸入、マンホール内に転落し、被災した。

【発生原因等】

- ・酸素濃度および硫化水素濃度測定未実施
- ・換気未実施
- ・作業主任者職務不履行
- ・特別教育不十分

○ 新着情報

☆ 新着雑誌 ☆

■へるすあっぷ 21/No.266 特集◎働く人のストレスマネジメント

■労働の科学/12月号 特集◎企業倫理と安全文化

■産業保健ハンドブック

.....
○ 研修・セミナーのご案内(12月・H19年1月)
.....

★衛生管理者等研修

時間:14:00~16:00

会場:大分産業保健推進センター会議室

▽12月5日(火)

衛生管理者の産業保健活動 ー過重労働・メンタルヘルス対策ー

三角 順一(大分産業保健推進センター所長)

▽12月15日(金)

安全衛生法で定められた新任監督者教育について 古庄 義彦(基幹相談員)

▼1月11日(木)

新しい健康診断について 明石 光伸(基幹相談員)

▼1月23日(火)

自殺発生後の対応の実際 渡嘉敷 新典(特別相談員)

★産業医研修

▽12月2日(土)

安全衛生法と有害業務の関係について 古庄 義彦(基幹相談員)

◎時間:15:00~17:00

会場:大分県北地域産業保健センター(中津市医師会内)<http://www.nakatsu-med.jp/>

☆基礎/前期2 生涯/更新2

▽12月2日(土)

口腔領域に発現するストレス関連疾患 安東 俊介(特別相談員)

◎時間:17:00~19:00

会場:大分県北地域産業保健センター(中津市医師会内)<http://www.nakatsu-med.jp/>

☆基礎/後期2 生涯/専門2

※12月2日(土)の産業医研修は、それぞれ同じ会場で違う時間に行われます。

▼1月17日(水)

メタボリックシンドロームとその対策 細川 隆文(基幹相談員)

時間:18:30~20:30

会場:大分産業保健推進センター 会議室

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▼1月29日(月)

過重労働者への面接指導の手順と進め方 ー改正法・メンタルヘルス対策ー

三角 順一(大分産業保健推進センター所長)

時間:18:30~20:30

会場:大分産業保健推進センター 会議室

☆基礎/後期2 生涯/専門2

